

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えています。

かを掲載する。の点へは、著作権者へ配慮から現時点での掲載を控えています。

(小川仁志『中高生のための哲学入門』による)

(注) ソクラテスⅡ 古代ギリシャの哲学者。

1 ① とあるが、このことは修飾している部分を次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア イ ウ エ

2 本文中には次の一文が入る。入る場所として最も適しているものを本文中の ア イ ウ エ から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア イ ウ エ

3 ② とあるが、本文中で筆者は、哲学において、当たり前のわかりきったことを問うことといつまでも問いつけることの一点が必要なのは、どのようなことがあるからだと述べているか。その内容についてまとめた次の文の に入る内容を、本文中のことは使って四十文字以上五十文字以内で書きなさい。

当たり前のわかりきったことをもし誰もが勘違いをしていたとしたら、ことがあから。

4 ③ とあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。 a 、 b に入れるのに最も適しているひとつづきのことを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、 a は十二字、 b は九字で抜き出すこと。

当たり前のことを改めて考えるためには、まず疑う必要があり、 a を疑わないことには、物事の b ことはできないから。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

の時をまへ現載り者ら掲お権かのて作慮でえ。著配点控す。

(注) 宗易Ⅱ 千利休。

1 ④ を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

2 次は、Aさんがこの文章を読んだ後に書いた【鑑賞文の一部】です。【鑑賞文の一部】中の a 、 b に入れるのに最も適しているひとつづきのことを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、 a は二字、 b は七字で抜き出すこと。

三 次の問いに答えなさい。

3 ⑤ とあるが、本文中で筆者は、利休が鉢に入れた紅梅のどのような様子について「何とも言えないくらしい風情がある」と述べているか。その内容についてまとめた次の文の に入る内容を本文中から読み取って、現代のことはで十五文字以上二十五文字以内で書きなさい。

利休が鉢に入れた紅梅の 様子。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解含欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 機械のねじを縮める。
- (2) 荷物を抱える。
- (3) 架橋工事が始まる。
- (4) 自然への畏怖の念。
- (5) 地元企業にシユウシヨクする。
- (6) テッポウで逆上がりの練習をする。
- (7) 換気のためにマドを開ける。
- (8) 地図のシユクシヤクを確認する。

2 次の文の「私」は中学生である。 に入れる敬語表現として適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

私は、先生に自分の考えを 。

ア お話しになった イ お話した ウ お話しなされた エ 話された

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

(注) 緑 II 和風建築で、座敷の外部に設けた庭につながる板敷きの部分。建物の内側にあるものを「広縁」、外側にあるものを「濡れ縁」という。

部 II 一般的に、光や雨風をさききるために格子に板を張り付けた戸。高山寺石水院の部は、板を張り付けていないため光や風を通す。



高山寺石水院

(竹原義一「無有」による)

1 ①とあるが、日本の建築の特徴について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、a は十八字、b は十六字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

日本の建築は内と外が曖昧につながっており、その曖昧な境界には a が生み出され、そこには b が見られる。

2 ②とあるが、本文中で筆者は、高山寺石水院の広縁は、部の開閉によってどのように変化すると述べているか。その内容についてまとめた次の文の に入る内容を、本文中のことばを使って四十五字以上、五十五字以内で書きなさい。

高山寺石水院の広縁は、格子状の部が風や光を通すため、部が閉まっている状態では こと、さらに「外」に近付いていく。

3 ③とあるが、次のうち、このことは本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 区別する      イ 計画する      ウ 描写する      エ 比較する

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 開放性は、日本の伝統的な建築様式における最大の特徴であり、開放的な日本建築は、日本人の住まい方や人間関係、行動様式にも大きな影響を与えるだけでなく、西洋の文化にも影響を与えた。

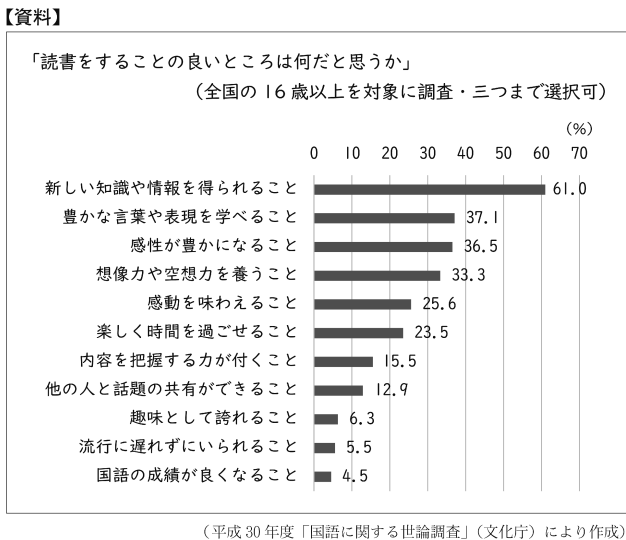
イ 座敷は、自然に向かって開かれた構造をもつものであり、自然と親密に接することを大切にしてきた日本人は、戸や障子を開放して庭の眺めを楽しむできた。

ウ 敷居に二重溝が切られるようになると、それまで開くか閉じるかか選べなかった建具を引き違うことができるようになり、建具は内外を明確に仕切ることができるようになった。

エ 日本建築には、壁などの垂直面のほか、「またぐ」「くぐる」という行為、建具の開閉や性質、屋根の有無、床面のレベル差や仕上げ材の違い、上下足の区別など、内外を一義的に定める様々な境界がみられる。

五 次の【資料】は、「読書をすることの良いところは何か」という質問に対する回答結果をまとめたものです。あなたは、読書をする

ことの良いところはどのようなところだと考えますか。あなたの考えを、【資料】の内容にもふれながら、なぜそのように考えたのかも含めて、別の原稿用紙に二百六十字以内で書きなさい。





- ・原稿用紙の正しい使い方にしたがって書くこと。
- ・題名や名前は書かないで、本文から書き始めること。

・題名や名前は書かないで、本文から書き始めること。